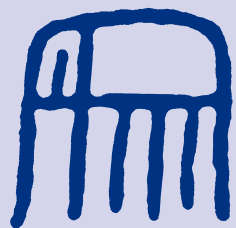
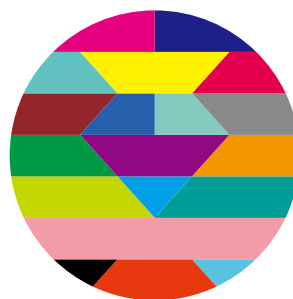


2022.9 NO.75

同窓會報



〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6
京都市立芸術大学美術学部同窓会 象の会
発行人：同窓会会長 望月 重延
TEL/FAX 075-334-2218
携帯 090-7353-6999
http://www.kyogei-ob.jp
E-mail info@kyogei-ob.jp



Hand On
KCUA Alumni Art Auction 2023

京都市立芸術大学移転支援事業（同窓生作品オークション）

京都芸大同窓会アートオークション2023「Hand On」

期 間：2023年 1月6日(金)～ 1月9日(月・祝) 11:00～19:00

会 場：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (アウア)
＜京都市中京区堀川通御池東北角＞ ☎075-253-1509

オープニングセレモニー 1月5日(木) 14:00～

2023年、京都駅東側エリアへキャンパスを移転し、来るべき時代の新しい芸術大学を作り上げようとする私たちの母校を支援する一つの形として、京都芸大同窓会アートオークション2023「Hand On」を開催いたします。「伝える」「手渡す」「伝達する」といった意味を持つ「Hand On」という言葉を、私たち同窓生の想いを未来に伝えるためのオークションのタイトルとしました。

呼びかけに応じ、ご出品いただいた同窓生の作品（音楽学部同窓生は出張演奏の出品）をオークションにかけ、得られた収益金

を移転整備支援基金（設備・備品等充実）として大学へ寄付いたします。大学でも移転整備支援基金への募金活動を進めていますが、まだ目標額に達していません。私たち同窓会は、京都芸大同窓会アートオークション2023「Hand On」を成功させて母校の発展／美術教育振興の一助になればと祈念する次第です。同窓生を始め多くの方々のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。詳しくは同封の「開催のご案内とご出品のお願い（兼・エントリー用紙）」をご覧ください。

1 会場で入札



展示会場にて専用入札用紙に記入の上、提出する。

2 WEBで入札



<https://www.kyoto-hand-on.com>
にアクセスし、専用ページからWEB入札する。
WEB入札開始2023年1月6日(金)11:00～

3 FAXで入札



専用入札用紙に記入の上、
下記へFAXする。
075-253-1510 (FAX専用)

Head line

京都芸大同窓会アートオークション2023「Hand On」	1	過去の「芸大祭」パンフレット、お持ちでないですか？	8
2022年度役員総会の報告	2	今年の芸大祭にTea Café「象の店」が開店予定	8
「さようなら沓掛キャンパス(仮称)」イベント、両同窓会主催で開催予定	5	新入生へのプレゼント 総合基礎ノートについて	9
「京都芸大同窓会アートオークション2023」実行委員会に事務局を新設	5	令和4年度後期 芸術資料館収蔵品展	9
京都芸大「同窓会象の会」職員(アルバイト)募集のお知らせ	5	Relay Talk 象の会・いろあわせ ⑮	10
特集「さようなら沓掛キャンパス」＝写真で辿る42年＝	6	2021年度「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品	11
新任あいさつ	8	事務局だより	12
芸大祭2022	8	編集後記	12

2022年度役員総会の報告

2022年7月9日(土) 16:00～18:00

からすま京都ホテル2階(双舞の間)

出席者数：50名(出席者30名、委任状20名)

議決権総数：80名

*総会後に「懇親交流会」開催18:00～20:00

大学来賓：赤松学長、藤野副学長、上田副理事長、小山田(懇親会) 美術学部長、天沼事務局長、(藤田総務広報課長)

2020年から2年間、新型コロナウイルス蔓延防止のため書面議決総会で対応してきましたが、今年は久しぶりに対面総会を開催することができました。安井友幸学内代表幹事を議長に選出し、提案された6件の議案を審議いただきました。その結果、全議案が賛成多数で承認されましたが、3号議案で2人から意見があり、その主旨を事業実施に生かすことで承認されました。

本年度の役員総会について以下のとおり報告申し上げます。



2022年度役員総会

第1号議案 2021(令和3)年度 事業報告

2021年も新型コロナウイルス蔓延防止や緊急事態宣言の発令が継続し、大学もリモート授業の継続で学生の姿も少なくキャンパス風景も変わりました。同窓会の事業も中止や延期が相次ぎ、同窓生の個展やグループ展の開催も減少しました。

2020年に勃発した「大学名称裁判」も重要な問題でした。同窓会は、大学の応援団として、音楽学部同窓会と一緒に「京都芸術大学の名称を守る会」を組織して反対署名集めや支援カンパ活動などの反対運動を展開しました。最終的な署名は24,009筆が集まり大阪地裁へ提出しました。集まったカンパ255万円は大学へ寄付しました。しかし昨年7月、大学は裁判所から和解勧告を受け入れる事態となり、多くの同窓生にとって苦渋の選択と写りました。しかし、和解案は1審の敗訴判決を無効とし、確定させなかったことで、「京都芸大」の名称を京都市立芸術大学の略称として確定、商標登録したことは一定の成果と評価できます。今後は、京都芸大が市立芸大の略称として広く認知・周知されるよう活動を展開して行くことが大切だと思います。

大学移転ですが、京都駅東地域への移転が予定通り進んでいます。2023年秋には新キャンパスで後期授業がスタートする予定と聞いています。同窓会では、移転基金への寄付を目的とした「アートオークション2023」を来年

1月6日～9日に「市堀川御池ギャラリー」「ギャラリーアーク」での開催を目指し準備を進めてきました。

その他、2021年度の主な活動内容については、議案書記載のとおりです。

第2号議案 2021(令和3)年度 決算・監査報告

決算報告書 (2021年(令和3年)4月1日～2022年(令和4年)3月31日) (単位：円)

一般会計 (収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	5,205,236	5,205,236	2020年度から繰越し
繰 入 金	0	0	
年 会 費	400,000	301,000	125件(参考 2019年度399件、2020年度148件)
終 身 会 費	1,500,000	1,805,000	85件(参考 2019年度149件、2020年度139件)
入 会 金	2,190,000	2,280,000	@ 15,000 × 152件
雑 収 入	1,000	451,300	大学への移転寄付金 444,000、寄付 7,300
「京都芸術大学の名称を守る会」運動カンパ	1,000	26,000	5件(2021年度)
利 息	64	84	ゆうちょ、京銀、中銀、UFJ、みずほ、三井住友
合 計	9,297,300	10,068,620	

(支出の部) (単位：円)			
項 目	予 算	決 算	備 考
運営費	1,787,000	1,046,821	
事 務 費	1,400,000	779,373	事務品、通信、人件、行動
会 議 費	60,000	44,485	役員会、総務会、名称
慶 弔 費	7,000	1,507	弔電
ホームページ運営費	150,000	150,000	ホームページ管理運営
郵便加入者負担金	140,000	71,456	振込手数料
備 品 費	30,000	0	レーザープリンター
事業費	3,345,000	3,380,804	
アートオークション	150,000	68,000	実行委員会 行動費
同窓生名簿集	1,000	0	
会報「象」発行	1,500,000	2,002,322	9月、2月発行
芸祭出店事業	1,000	0	休店
同窓会展	1,000	0	未実施
作品展 同窓会賞	280,000	245,390	賞金@ 20,000 × 12 賞状作成 振込手数料
新入生御祝	280,000	412,000	図書「京の美都の書」2022年度新入生お祝ノート
卒業生御祝	560,000	626,500	同窓生名簿 2020 @ 3,500 × 179冊
大学支援	500,000	0	大学への事業支援 申請なし
会報会誌合本	70,000	26,592	
五芸祭補助	1,000	0	該当なし
修学支援	1,000	0	該当なし
特別事業費			
「京都芸術大学の名称を守る会」運動	263,000	280,000	
出 捐 金	1,000	0	
カンパ	260,000	280,000	同窓会連絡協議会へ(2020年度残金 254,000)
趣意書 署名簿 送付	2,000	0	
予備費	901,300	0	
雑支出	1,000	472,000	終身会費重複返金 28,000 大学へ移転寄付金 444,000
繰出金	3,000,000	3,000,000	事業基金特別会計へ繰出
合 計	9,297,300	8,179,625	
次年度繰越金	0	1,888,995	

事業基金 特別会計 (収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
繰 越 金	18,820,000	18,820,000	2020年度から繰越し
横 立 金	3,000,000	3,000,000	一般会計から繰入れ
返 済 金	800,000	1,080,000	名簿代 800,000 一般会計から 280,000
雑 収 入	280,000	0	
利 息	0	0	
合 計	22,900,000	22,900,000	

(支出の部) (単位：円)			
項 目	予 算	決 算	備 考
取り崩し	0	0	
貸 出 金	0	0	
合 計	0	0	
次年度繰越金	22,900,000	22,900,000	

同窓生名簿特別会計 (2020～2025年の途中、2021年度分)

(収入の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
繰 越 金	1,238,309	1,238,309	2020年度から繰越し
助 成 金	0	0	本年度なし
借 入 金	0	0	本年度なし
広 告 料	0	0	本年度なし
名簿頒布金	760,000	750,500	@ 4,000 × 31冊 @ 3,500 × 179冊
雑入・利息	11	14,163	前年度郵便後納金戻入 14,157 利息 6
合 計	1,998,320	2,002,972	

(支出の部)			
項 目	予 算	決 算	備 考
編集印刷	0	0	本年度なし
編集委員会	0	0	本年度なし
通 信 費	10,000	0	
その他経費	50,000	0	
返 済 金	800,000	800,000	特別会計へ戻入(5年の2年目)
合 計	860,000	800,000	
次年度繰越金	1,138,320	1,202,972	

財産目録 (2022年3月31日現在)		(単位: 円)
流動資産	25,991,967	(前年度 25,263,545)
普通預金	三菱 UFJ 銀行	432,000
普通預金	三井住友銀行	186,005
普通預金	みずほ銀行	211,017
定期貯金	ゆうちょ銀行	10,000,000
通常貯金	ゆうちょ銀行 アートオークション	8,812
当座預金	ゆうちょ銀行 郵便振替口座	5,465,466
通常貯金	ゆうちょ銀行	772,016
普通預金	京都銀行	8,258,546
普通預金	京都中央信用金庫 事務局	619,312
現金		38,793
固定資産		なし
負債		なし
正味財産	25,991,967	(前年度 25,263,545)
一般会計		1,888,995
事業基金特別会計		22,900,000
名簿特別会計		1,202,972

2022年6月6日 上記のとおり報告いたします。

会 計 藤本 英子 ㊞
会 計 小畑 剛 ㊞

2022年6月6日、大学会議室2で監査を行い、同窓会会計帳簿、預金通帳、領収書類を精査し、この報告の通り相違ないことを確認いたしました。

会計監査 長谷川 直人 ㊞
会計監査 水野 収 ㊞

第3号議案 2022(令和4)年度 事業計画(案)

2022年度は、経常業務以外に次の4つの重点事業・課題を提案しました。

① 芸大移転基金への支援を目的とした「京都芸大同窓会 アートオークション2023」の開催

大学移転の建設費は京都市の負担ですが、それ以外の移転経費(施設整備、移転費用など)は大学で手当てしなければなりません。大学は移転整備基金の窓口を設け、同窓生や京都市内外の企業などに募金への協力を今もお願いしています。基金の目標金額は15億円で、まだ7億円が不足していると聞いています。

同窓会では、移転整備基金への寄付協力を会報などでお願いしてきているところですが、なお一層のご協力をお願いします。さらに来年1月6日から9日まで、堀川御池ギャラリー、ギャラリーアクアを会場に「アートオークション」を開催し、同窓生にお願いして寄付された作品の競売によって資金を集め、移転支援基金に寄付し、その足しにしたいと準備を進めています。このオークション

開催による大学への目標寄付額は1,000万円としています。また、音楽学部同窓会「真声会」も賛同いただき、音楽同窓生による「出張演奏会」をオークションにかけ基金寄付に協力いただく計画です。

② 同窓会の財政安定化のため終身会費制を定着させ、入学時に入会金との一括納付を目指す課題

同窓会活動の活性化には、財政規模の拡大と安定が必須です。現在、象の会では、入学時に入会金1.5万円の納付をお願いする文書を送っています。入会金の徴収率は100%に近い数字ですが、卒業後の会費徴収率は20%弱の状況です。この会費の低徴収率をアップしなければ財政の安定は望めません。そのため会費を値上げするのではなく、会費の終身会費制を定着させ、入学時に入会金との一括納付を目指すことにより、会費の徴収率向上を期待するものです。大学には入学時に新入生に送付する文書に同窓会からのお願い文書を同送していただけるよう真声会(音楽同窓会)と連名でお願いをしました。大学から次の回答を得ています。

大学で検討した結果、あくまで同窓会からの任意のお願いであり、それに応えなくても入学に何ら不利益になることは無いことから入学案内文書と同送することに協力するものとします。時期的には直近の来年4月入学に間に合うよう努力したい。

③ 同窓会事務室の移転に向けた準備

大学移転に際し、同窓会事務室の移転について両同窓会(美術・音楽)長連名で大学にお願いしました。

同窓会事務局の移転を、全体の移転計画の中に明確に位置付けていただき、移転に要する費用負担は、大学の経費の中で賄えるよう、また、移転時のゴミ処理や同窓会新事務室の設備機器について同窓会の希望が実現できるようお願いしました。

大学からは、「移転に際して同窓会室に移転荷物の整理をお願いできれば、後は大学の責任で運び込むなど取り計らいます。移転時のゴミ処理、移転後の設備についても不便をお掛けする事の無いようにしたいと考えています」との回答をいただき同窓会室移転については一安心と考えています。



象の会役員総会と懇親会 (2022.7.9)

④ 芸大祭への同窓会模擬店「象の店」の再出店を目指す課題

芸大祭の実行主体である学生の実行委員会が、今年の芸大祭も禁酒が前提と決定したため模擬店「象の店」は居酒屋として開店できないことになりました。

学外に開店する案も検討しましたが不可能との結論となりました。また、芸大祭実行委員会が今年に検討している「42年間の芸大祭を振り返る展示」ブースの部屋に紅茶のカフェ「象の店」を開店し交流の場にする案や、来年7月1日の創立記念日に両同窓会が主催し、「さようなら杏掛キャンパス(仮称)」を開催するプランなども検討しています。大学も協力は惜しまないとの意向で、会場は「大学会館」が考えられます。

3号議案に対して、入学時に終身会費一括納付するようお願いの件では、「卒業生からの会費納付率を上げることが先ず必要であると思う」との意見があり、その主旨を生かす努力をすることが確認されました。

「象の店」開店については「お酒うんぬんより交流の場としての店が必要で紅茶カフェ案に賛成するので実現して欲しい。併せて先輩たちが使ってきた道具や材料、小作品を売買できる「蚤の市」も併設できれば楽しいと思う」の意見がありました。実現の可能性を探ることが確認され、3号議案は拍手で承認されました。

第4号議案 2022(令和4)年度 予算(案)

予算書(案) (2022年(令和4年)4月1日～2023年(令和5年)3月31日) (単位:円)		
一般会計		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	1,888,995	2021年度より
繰 入 金	6,932,000	事業基金特別会計より
年 会 費	300,000	@ 1,000 × 300 件
終 身 会 費	1,725,000	平均 15,000 × 115 件
入 会 金	2,190,000	@ 15,000 × 146 件
雑 収 入	1,000	寄付 等
「京都芸術大学の名称を守る会」運動カンパ・利息	5	(前年度 カンパ 26,000 利息 84)
合 計	13,037,000	
(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
運営費	1,905,000	
事 務 費	100,000	消耗品、交通費 等
通 信 費	100,000	電話、郵送
人 件 費	800,000	役員手当、事務員手当
会 議 費	600,000	役員総会、総務委員会、各委員会、行動費 等
慶 弔 費	5,000	祝電、お悔やみ 等
ホームページ運営費	150,000	ホームページ管理運営
振替手数料	100,000	加入者負担振込料
備 品 費	50,000	
事業費	10,293,000	
アートオークション 2023	6,932,000	
同窓生名簿編集(助成金)	1,000	存目計上
会報「象」発行	1,700,000	9月、2月発行
芸大祭出店	150,000	「象の店」
同窓会展	1,000	存目計上
作品展 同窓会賞	280,000	賞金@ 20,000 × 13 賞 賞状作成 等
新入生御祝	132,000	2023年度入学祝 総合基礎ノート
卒業生御祝	595,000	「同窓生名簿 2020」贈呈 @ 3,500 × 170 冊
大学支援	500,000	大学へ事業助成
会報会誌合本	0	
五芸祭補助	1,000	存目計上 <本年度コロナで中止>
修学支援	1,000	存目計上
特別事業費		
「京都芸術大学の名称を守る会」	0	
予備費	838,000	
繰出金	1,000	存目計上
繰出金	0	事業基金特別会計へ
合 計	13,037,000	
次年度繰越金	0	

事業基金 特別会計		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
繰 越 金	22,900,000	2021年度より
積 立 金	0	一般会計より
返 済 金	800,000	名簿特別会計より
雑 収 入	0	
利 息	0	
合 計	23,700,000	
(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
取り崩し	6,932,000	一般会計へ
貸 出 金	0	名簿特別会計へ(5年間)
合 計	6,932,000	
次年度繰越金	16,768,000	
同窓生名簿特別会計 (2020～2025年の途中、2022年度分)		
(収入の部)		
項 目	予 算	備 考
繰 越 金	1,202,972	2021年度より
助 成 金	0	本年度なし
借 入 金	0	本年度なし
広 告 料	0	本年度なし
名簿頒布金	635,000	@ 4,000 × 10 冊 @ 3,500 × 170 冊
雑入・利息	28	
合 計	1,838,000	
(支出の部)		
項 目	予 算	備 考
編集印刷	0	本年度なし
編集委員会	0	本年度なし
通信費	10,000	通信費 交通費
その他経費	10,000	事務費一般
返済金	800,000	特別会計へ(5年の3年目)
合 計	820,000	
次年度繰越金	1,018,000	

第5号議案 「象の会」会則、運営要項改正(案)

● 会則改正案

(入会及び会費)

第6条 (3) 前号に定める者の会費は、本学在籍中に限り免除する。(この項を削除)

● 運営要項改正案

(入会及び会費)

- ・ 会費は卒業・修了時に終身会費として30,000円を一括して納付する方法と、年会費1,000円を2年ごとの請求時にまとめて納付する方法のいずれかを基本とする。この項を削除し次のとおり改正する
- ・ 会費は30,000円とし、入学時に終身会費として一括納付することを基本とする。ただし、本人の申請により在学中に分割して納付する方法も認められる。本運営要項改正前からの正会員で年会費(1,000円)納付していた者はそれを継続することができ、併せて途中から終身会費に移行することもできる。

5号議案は拍手で承認されました。

第6号議案 2022年 役員幹事の一部交代(案)

今年度も都合により2名から幹事交代の届がありましたので一部交代案を提案いたします。(太字が新役員幹事) 國松万琴(1985昭60 陶)、山本真美江(2015平27 陶) また、本年4月の異動に伴い名誉副会長の2人が変更となりましたので、交代が提案されました。

天沼 憲(事務局長)、礪波恵昭(美術学部研究科長)

6号議案は拍手で承認されました。

同窓会役員名簿

名誉会員	中西 進	潮江 宏三	建畠 哲	鷺田 清一
相談役・顧問	上村 淳之（相談役）	中井 貞次（顧問）		
名誉会長	赤松 玉女（理事長・学長）			
名誉副会長	上田 誠（副理事長）	天沼 憲（事務局長）●	小山田 徹（美術学部長）	磯波 恵照（研究科長）●
	学 内	学 外		
会 長		望月 重延（1967（昭42）塗）		
副会長		出井 豊二（1973（昭48）D）	小山 格平（1976（昭51）D）	阿部 緑（1983（昭58）染）
代表幹事	安井 友幸（漆工）	野崎 邦雄（1969（昭44）洋）		
会 計	藤本 英子（環境D）	小畑 剛（1970（昭45）洋）		
監 査	長谷川直人（陶磁器）	水野 収（1979（昭54）日）		
幹 事	三橋 卓（日本画）	三宅 五徳（1951（昭26）彫）	中井 貞次（1954（昭29）染）	上村 淳之（1957（昭32）日）
	金田 勝一（油画）	榊原 吉郎（1957（昭32）洋）	芦田 裕昭（1959（昭34）日）	伊藤 義明（1959（昭34）図）
	田中 栄子（版画）	舞原 克典（1961（昭36）洋）	川口 凱正（1963（昭38）日）	佐野 賢（1966（昭41）彫）
	金氏 徹平（彫刻）	古川加津夫（1970（昭45）D）	鶴田 憲次（1971（昭46）洋）	竹内 三雄（1972（昭47）彫）
	人長 果月（構想設計）	中野 順二（1972（昭47）塗）	辻 喜代治（1973（昭48）塗）	佐藤 敬二（1974（昭49）D）
	滝口 洋子（VD）	岩間 香（1977（昭52）日）	酒井 雅子（1978（昭53）洋）	塚田 章（1979（昭54）D）
	高井 節子（PD）	松尾 恵（1980（昭55）染）	松本 陽子（1982（昭57）版）	東田 幸治（1983（昭58）油）
	日下部雅生（染織）	児玉 靖枝（1984（昭59）油）	村岡 幸信（1985（昭60）日）	●國松 万琴（1985（昭60）陶）●
	田島 達也（芸術学）	河原 有伽（1986（昭61）版）	茶谷 文子（1986（昭61）PD）	谷本 天志（1989（平1）油）
	飯田 真人（教職）	安藤 吉準（1989（平1）構）	辻野 宗一（1990（平2）日）	新田 恭子（1990（平2）染）
		碓 康治（1991（平3）日）	安井 健二（1992（平4）VD）	福岡 崇（1994（平6）PD）
		吉岡 佐知（1995（平7）日）	新道 牧人（1997（平9）彫）	福本 双紅（1997（平9）陶）
		正垣 雅子（1998（平10）日）	新道 尚美（1998（平10）陶）	川越 里美（1998（平10）陶）
		北里美絵子（1998（平10）染）	黒川 彰宣（1999（平11）彫）	徳永 杏子（1999（平11）VD）
		小川久美子（1999（平11）染）	関林 宏祐（2001（平13）日）	谷口 晋也（2001（平13）陶）
		吉岡 千尋（2004（平16）油）	谷澤紗和子（2005（平17）油）	久門 剛史（2005（平17）彫）
		佐野 暁（2005（平17）漆）	吉岡きくみ（2007（平19）環D）	公庄 直樹（2007（平19）漆）
		中川 愛子（2008（平20）環D）	中村 潤（2009（平21）彫）	澤村 春菜（2010（平22）日）
		萩原 佳奈（2010（平22）漆）	村井 都（2013（平25）版）	荻野 志織（2014（平26）芸）
		多田 晶子（2014（平26）染）	●山本真実江（2015（平27）陶）●	田村 美有（2016（平28）PD）

●印は新任

「さようなら沓掛キャンパス(仮称)」イベント、両同窓会主催で開催予定

来年2023年秋、いよいよ大学移転を迎えます。美術、音楽両同窓会では、大学の協力を得て、来年の7月1日(土)の大学創立記念日に大学会館を会場に「さようなら沓掛キャンパス(仮称)」イベントを開催することにしました。

具体的な内容や実施の詳細はこれから実行委員会を立ち上げて検討し、次の会報でお知らせしたいと思っています。楽しみにしてください。

「京都芸大同窓会アートオークション2023」実行委員会に事務局を新設

本年度からアートオークション2023実行委員会に事務局を置きました。それまでは同窓会事務局が担ってきましたが、増える業務を効率的にこなすためとオークション成功には専門性が必要なことから、大学のギャラリー@KCUAの学芸員とスタッフで構成しました。事務局所在は@KCUAですが、同窓会事務局でも機能するようにしています。

実行委員会メンバー(順不同)
委員長＝望月重延、副委員長＝鶴田憲次・野崎邦雄、事務局長＝藤田瑞穂、実行委員＝阿部緑・小山格平・出井豊二・古川加津夫・辻喜代治、松尾恵・安井友幸・人長果月・東田幸治、オブザーバー(大学)＝小山田徹(美術学部長)・舟瀬伴子(事業推進課長)、事務＝関本恭子・伊藤学美

京都芸大「同窓会象の会」職員(アルバイト)募集のお知らせ

同窓会象の会では次のとおり臨時職員を公募します。ご希望の方は履歴書(市販)に必要事項を記入し提出してください。

募集：老若男女学歴経験を問わない 長期勤務可能な方希望

職種：事務経理全般 パソコン(データベースの構築と管理)ができる方

業務内容：同窓会運営事務、会員名簿データ管理、会計出納など

時給：1,000円(別に交通費支給) 賞与なし 退職手当なし

勤務：週に2～3日ほど(1日5～6時間) 時間外勤務もあり

社会/雇用保険：なし

勤務場所：京都芸大同窓会事務局(在宅勤務も可)

勤務予定日：2023年4月1日～(初め3か月間は試用期間)

問合せ/提出先：610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都芸大同窓会象の会

Email info@kyogei-ob.jp

携帯 090-7353-6999

特集「さようなら沓掛キャンパス」 = 写真で辿る42年 =

1980年4月。東山今熊野から西京の大枝沓掛へ、以来42年。2023年夏、京都芸大は9回目の引越しをします。京都駅の東へ。鴨川を挟んだ向かいは今熊野、里帰り気分もチョッピリと。もうすぐ9番目の「故郷」になるキャンパスの地、大枝沓掛。さようなら そして、ありがとう。

(大学総務広報課などに提供いただいた写真です。)



2020.5 同窓会が撮影



新学舎落成記念祝賀会市長挨拶 (1980.5.20)



新学舎落成記念祝賀会学長式辞 (1980.5.20)



中央棟南正面



池畔の中央棟



2013_池前



大学会館裏



大学会館ホール



中央棟玄関ホール



大学会館_2006年頃



芸大祭



陶磁器



総基礎



食堂



芸大祭



構想設計



大学会館裏ステージ



総基礎_第3課題_1



総基礎_第4課題_3



総基礎



大学正面玄関



玄関から中央棟を臨む

京都市立芸術大学にご縁のあるみなさまへ

京都市立芸術大学「沓掛1980-2023」プロジェクト+芸術資源研究センターでは、京都芸大のキャンパスで撮影された写真をデジタルアーカイブ化する活動「沓掛1980-2023」を開始します。

本プロジェクトは、本学に関係するみなさんが撮影した沓掛キャンパスの写真を提供していただき、それを「本学に関係する個々人の記憶の集合体」としてまとめ、沓掛時代の本学の記録をつくろうとする取り組みです。

集められた写真はデータベースにまとめ、学内外で閲覧可能にする計画です。個々人の記憶の断片を集積させたとき、どのような記録が浮かび上がるでしょうか。本学で学んだ卒業生や在学生の方たちはもちろん、教職員の方々や、近隣の方々など、広く京都市立芸術大学沓掛キャンパスに関係するみなさまの記憶を集めていきたいと思っています。

【参加方法】

- ①<https://kutsukake2023.com>
へアクセス(右記のQRコードからもアクセスできます)
- ②「POST」から投稿フォームへ
各項目に入力の上、写真を投稿してください
- ③数日後、サイトのギャラリーに反映されます

・お問い合わせ

京都市立芸術大学「沓掛1980-2023」プロジェクト+芸術資源研究センター

kutsukake2023@kcua.ac.jp



沓掛
1980-2023
KUTSUKAKE 1980-2023

新任あいさつ (2022年4月)

染織研究室 特任教授(ファイバーアート)

上野 真知子(あがの まちこ)



京都市立芸大に赴任して

4月から染織に特任教員として赴任いたしました。前任校でも染織・テキスタイルの教員として同様の仕事をしていたのですが、また新鮮な気持ちで取り組ませていただけることに感謝しています。銅駝美術工芸高校から数えると40年近く教育現場にありますが、学生を見てると昔と変わらない部分もあり、又大きく違う部分もあり、毎日楽しく過ごしております。

京芸には1980年から2年間、非常勤講師として来ていましたが、40数年ぶりに見る沓掛学舎は木々が生い茂り、

改めてその広さも実感できて、七条から移転してきた時のことも思い出されて、感慨深いものがあります。そして来年の京都駅移転で、又新たな歴史を刻んでいくときに立ち会えることに、不思議な巡り合わせを感じています。

京都で染織ということ、その様々な背景も含めて若い世代に伝えることの重要性は認識していますが、自分にできることはほんの一部でしかありませんので、皆様のお知恵を借りつつ、出来るだけより良い内容にしていけるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

「芸大祭2022」の開催

今年の芸大祭のテーマは「くっつけキャンパスへ、ようこそ。」です。

今年は沓掛キャンパスで開催できる最後の芸大祭ということで、このキャンパスにちなんだ企画や制作が出来たら良いと思いいこのメインコンセプトを掲げました。

このキャンパスには約40年という長い歴史があります。その歴史の中で過去の先輩、先生など、様々な人と寄り添ってきました。

今この校舎をもう一度よく観察し直してみると、荒れ果てたように見える校舎裏、壁に描かれた無数の落書き、放置されっぱなしの楽譜やコンサート案内、黄ばんだ鍵盤のピアノなど・・・建物自体にその歴史の痕跡が、まるでスピリチュアル的な何かが生きているかのように残されています。

使い続けられたものには神様が宿るとよく言われた記憶がありますが、今この校舎には40年の歴史を宿す神様が居るのではないのでしょうか。池の神様、並木道の神様、食堂の神様など・・・大学内の様々な場所にその地に固有の神様が宿っているかもしれません。

そんな「くっつけの神様」を今現在の芸大生が創造し、この校舎を飾る最後の芸大祭にします。

また新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、今年はしっかりと感染対策をして安全に楽しめるように準備を進めています。

2年ぶりの実地開催、ぜひお越しください。

芸大祭実行委員長 鳥井 直輝 萩原 凜

過去の「芸大祭」パンフレット、お持ちでないですか？

今年も11月5～7日に「芸大祭」が開催されます。実行委員会は、沓掛キャンパス最後の芸大祭になることから、沓掛時代42年の芸大祭を当時のパンフレットで回想する展示を行い、体系的に俯瞰する企画を進めています。しかし、当時のパンフレットが揃わないため悩んでおり、同窓生でお持ちの方がおられたら是非とも提供に協力をお願いしたいと願っています。同窓会も協力したいと思っていますので芸大祭に関するパンフや資料をお

持ちで協力できる方は、同窓会事務局までご連絡ください。(できれば9月30日までをお願いします)

同窓会事務局

<携帯=090-7353-6999、Email info@kyogei-ob.jp>

今年の芸大祭にTea Café「象の店」が開店予定

今年の11月5日(土)～7日(月)の予定で「芸大祭」開催が予定され、実行委員会において準備が進んでいます。過去2年、コロナ禍のためリモート方式で開催されてきましたが、今年は沓掛キャンパス最後の「芸大祭」であり、コロナ禍行動制限も解除されていることから、対面の芸大祭を復活させるそうです。

しかしコロナ予防措置もぬかりなく実施する方針で、コロナ前のようにはいきません。「象の店」も居酒屋からTea Café(紅

茶の専門店)に衣替えし、同窓生と学生・教員などが交流できる場としての役割を果たしていきたいと思っています。

現在、象の店開店に向け実行委員会と協議を進めています。店の位置は中央棟の教務課横または大ギャラリー横のスペースか、中央棟2階保健室南のピロティのいずれかを予定しています。詳細が決まれば同窓会のホームページなどでお知らせいたしますので、多くの同窓生の参加をお待ちしています。

新入生へのプレゼント 総合基礎ノートについて

今年度入学生に記念品として「そうきそノート」を同窓会「象の会」よりいただきました。そうきそノートは総合基礎実技のある前期授業の間全員が必携し、授業のメモやアイデアスケッチ、レクチャーの感想文などに使います。

最初のオリエンテーションの日に手渡し、入学生が今日から140年続く本学の同窓会の会員になったこと、そのお祝いとして先輩方よりいただいたので大切に使うことと伝えました。

入学生はその後以下の内容で表紙の制作を行い、入学式後のクラスで自己紹介を行う時にみんなに披露されました。

『白いそうきそノートの表紙を自由にアレンジして、あなた自身のそうきそノートを制作してください。画材や技法は自由ですがどこかに氏名を入れましょう。』

8日にはあなたのそうきそノートを持って自己紹介をします。同封の象の会シールはノートの好きな場所に貼ってください。』

初めての課題に真剣に取り組みましたのでその一部をご覧ください。ただけだと思います。どうもありがとうございました。

総合基礎実技運営委員長 滝口洋子



令和4年度後期 芸術資料館収蔵品展 (2022.9 ~ 2022.11)

開校140年の本学の教育史において、当館の収蔵品は蓄えられてきました。今年度の第1期「さよなら沓掛キャンパス展 Part1」は、本学の京都駅東部へのキャンパス全面移転前の最終年度という節目に際して沓掛キャンパス時代に収蔵・登録された作品・資料を展示しました。第2期「語る絵画—絵巻と襖絵」は、中世の絵巻や襖絵の写本を通して描かれた説話や物語の世界を紹介しました。第3期「さよなら沓掛キャンパス展 Part2」は、沓掛キャンパス時代に制作された元教員や卒業生の作品を展示しました。9月からは以下の展示を開催しますので、皆様のお越しをお待ちしております。

第4期 「像と影—一人のかたちを描く」 9月17日(土)~10月23日(日)

古く人の姿を描くことには特別な意味がありました。絵姿に呪術的要素があると考えられていたのです。そのため描かれるのは尊崇の対象に限られました。それが中世になると人そのものが関心の対象となりはじめ、肖像性を重視する似絵とよばれる肖像画が制作されるようになりました。本館が所蔵する模本と下絵をとおし、日本の肖像画の世界をお楽しみください。



林 司馬
《細川蓮丸像》2002年

第5期 「うつし展—京都御所小御所襖絵と本館模写資料」 10月29日(土)~12月4日(日)



田中訥言
《賀茂祭草紙》安永8年頃

日本の文化財模写の歴史の中で、京都御所小御所の襖絵にはやや特殊な事情があります。安政2年(1855)に制作された小御所は、昭和29年(1954)の火災で突然失われます。法隆寺金堂壁画とは異なり、精密な写真資料が遺されていなく、菊池契月一門の日本画家たちが復元に取り組みました。その「模写」のありかたを、本館収蔵資料を通して知るうつしの変遷とあわせて考察します。さらに現代の知見を生かして取り組んだうつしの試みを紹介します。

象の会・いろあわせ

同窓生が同窓生を紹介し、リレーしていく近況報告のコーナーです。懐かしい人と出会う楽しみ、いつか自分に廻ってくるかも知れないドキドキ感のある連載です。

ルー ウェイニー
陸 瑋妮

2014年（平26）台北実践大学建築設計専攻卒業
2019年（平31）京都市立芸術大学院絵画科版画専攻修了

「京都の出会いと自分、謝謝」

最初は留学が終わったら台湾に帰ろと思いながら、京都生活は7年目に迎えました。

大学院の専攻はシルクスクリーンで、卒業してから伏見にある工房「京都孔版」を利用しています。そして二条城にある印刷会社修美社で働きながら、プリンティングやアートブックなどの個人制作を行い、京都で活動しています。

大学の見学をきっかけにおもしろい印刷の新世界を初めて触りました。活版印刷、オフセット、コロタイプ、リソグラフなど（アーティスト親友と「含羞草」というzineshopユニットもゆるゆる組んでました）。会社は美術印刷と実験的な仕事が多くて、違うジャンルからすてきな人々と繋がりが、日々ワクワクな刺激がたくさんでした。

卒業の後すぐに新型コロナに襲われました。在日初めての就職、色々な不安と不慣れが3年を乗り越え、やっと東京個展の機会やアーティストフェアなど貴重な経験ができました。会社も本を作れる本屋というコンセプトでギャラリーがある複合施設の中に新しい店舗を立ち上げて、特殊印刷と製本の相談窓口を担当させていただいてます。文章を書きながらこう思い返したら、やっぱりしんどいことももちろんありましたが、京都で楽しんでいる自分と出会った人たちに感謝しかないです！謝謝！



次号に紹介される方は、
こにし けいこ
小西 景子さん
2016年（平28）版画専攻卒業
2018年（平30）絵画専攻（版画）修了

ひろなか すむ
廣中 進

1973年（昭和48）日本画科専攻卒業
1975年（昭和50）専攻科修了
バスケットボール部

ほっしんそくとう
「発心即到」



大学を卒業して厳しい社会に直面し、日本画制作を続けながら京友禅の工房の内弟子となり、以後独立して33年間従事しました。次第に作品制作からは遠ざかる様になりましたが、断えず自問自答の日々でした。50歳を前にして、京都の上醍醐山に写生に通い、ただ愚直に目に映る物を描き続けました。十数年を経て60歳で初個展、翌年に第二回個展と、絵の道に進ませてくれた亡き父と46歳で他界した同級生の天の声に励まされながら、絵を描き続けることが天職だと覚悟しました。

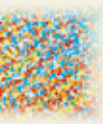
タイトルの「発心即到」と言う言葉は、強い覚悟無しでは何事も成し得ない、と私なりに解釈しています。後で知ったのですが、上醍醐山の登り口の門に「発心門」とありました。また、64歳の時にある方と出会い、滋賀安土石寺の教林坊の冬景色をテーマに個展をさせていただいたのですが、その寺には「発心即到」の書が掲げられてあり、何かが私をこの場所に導いてくれたのだと感じております。不器用な私ですが、学生時代に秋野不矩先生から「これが自分の絵だ!!というものを見つけて行きなさい。」というお言葉が今も私の宝です。

63歳で滋賀にて遺跡発掘調査の職を得、現在も作品制作と発掘調査で心と身体のリズムが出来ています。

通勤の行き帰りに目にするJ R京都駅横の新校舎建設が着々と進んでいます。若き後輩たちがこの新校舎で学び、素敵な作家に育っていかれることを祈り、心よりエールを贈ります。



次号に紹介される方は、
はしもと しょうじ
橋本 正次さん
1973年（昭和48）日本画科専攻卒業



2021年度 「京都市立芸術大学作品展」同窓会賞受賞作品 (12点)

会期=2022年2月9日~13日 会場=京都市立芸術大学、京都市京セラ美術館



untitled
松岡 日菜子
美術研究科 絵画専攻 油画 2回生



スクエア・ガーデン
河嶋 菜々
美術研究科 絵画専攻 日本画 2回生



Line Waves
中森 碧
美術研究科 絵画専攻 版画 2回生



アルプス
岡留 優
美術学部 美術科 構想設計専攻 4回生



Re-Capitulation
王 雯卉
美術研究科 彫刻専攻 彫刻 2回生



くみき なるき
高 美
美術学部 デザイン科 ビジュアル・デザイン専攻 4回生



Do co co co?
西尾 綾香
美術学部 デザイン科 環境デザイン専攻 4回生



ぱ べ び ぶ ぽけっと なにしてあそぼう!
大西 もも
美術研究科 デザイン専攻 プロダクト・デザイン 2回生



はじまりの呼吸と同調する試み
鄭 天雨
美術研究科 工芸専攻 陶磁器 2回生



祭り、人類は木と共に
高岸 航平
美術学部 工芸科 漆工専攻 4回生



日常の光
馮 相涵
美術研究科 工芸専攻 染織 2回生



<論文>
文楽人形の〈型〉とは何か
中野 ふくね
美術研究科 芸術学専攻 芸術学 2回生

●今年は沖縄返還(復帰)50周年を迎えた年で、様々な切り口のニュースを目にしましたが、復帰の年に沖縄県が制定した県章の記事が私の印象に残りました、円で構成されたシンプルなデザイン(マーク)で、全国から応募された作品から選ばれたそうです。その作者が、母校・美術工芸学校図案科を1932年卒業の故西澤弥一郎さんで、私が一緒に働いていた京都市染織試験場デザイン部の先輩同僚だったので、びっくりしました。いろいろな場面で活躍されている同窓生の報に接すると嬉しくなります。(野崎)



沖縄県

●大学の「移転整備基金」は、目標15億円の半分が集まっています(まだ半分とも言えます)。同窓会もアートオークションで売上金を寄付できるように頑張っていますが、オークションに出品するのが困難な皆様には、是非とも基金への寄付(1口1万円)で協力をお願いします。本基金の賛同者はまだ500人程で、大学も分母の少なさに頭を痛めています。ご協力いただける方は、

恐縮ですが大学へ直接お電話(075-334-2285 移転準備室)してください。

●新入生へ同窓会終身会費納付のお願い

今年7月の総会で、新入生入学時に同窓会終身会費(3万円)の納付をお願いする議案が、承認されました。来年4月から実施できる体制が整い、その予定で音楽同窓会と歩調を揃え準備を進めて参ります。

このお願いは、同窓会財政の安定化を図るため、入学時に入会金をお支払いいただき同窓会会員になられた新入生に対し、在学中の会費を免除していた制度を廃止して、終身会費の入学時一括納付をお願いするものです。このお願いは強制的なものでありませんが、趣旨をご理解いただき、協力をお願いする次第です。

また、新入生各位には負担増を伴うことも事実ですので、実施にあたっては、機械的に進めることなく、その方法、時期などをよく検討して参ります。

次の場合は、事務局までご連絡ください

●同窓会後援名義使用

同窓会費を納入されている会員が主宰する作品展など(個展、グループ展)で同窓会の後援を希望される場合。

●展覧会の案内、情報の掲載

同窓会に送っていただいた展覧会の案内や情報はホームページや会報に掲載しています。ホームページへ掲載を希望される場合は展覧会内容、DMデータなどをメールでお送りください。

同窓会会費の納入をお願いします

会費の納入状況は同封の払込取扱票に印字されていますので、未納の方は納入くださいますようお願いいたします。本ページ上記に記載のゆうちょ銀行の口座宛てに振り込んでいただくこともできます。

●満80歳以上の会費免除

過去10年間、同窓会会費を連続して納入いただいていた満80歳以上の会員で会費免除を希望される場合。

●氏名、住所、電話、FAXなどの変更時

お忘れになると会報など送付物のお届け、連絡が出来なくなりますので、郵送、FAX、メール、または同窓会ホームページの住所変更フォームからお知らせください。

編集後記

- 新型コロナウイルス感染が急拡大し、各地で感染者数が過去最多となった今夏、猛暑、集中豪雨などと相まって厳しい日々となりました。
- 今年に入り、延期や中止となっていた催しや伝統行事が復活するなど、コロナと上手く付き合いながら以前の生活に一步一步戻つつあることは喜ばしいことです。
- 芸大祭が3年振りに対面での開催となります。移転を控えた杏掛キャンパスで最期の機会となり、コロナ禍で飲食などの制約はあるものの、楽しく思い出に残る3日間にしていただきたいと思います。

- キャンパス移転もいよいよ来夏となり、移転整備支援事業として検討を重ねてまいりました「アートオークション2023 Hand On」も、皆様にご出品ご参加をお願いする運びとなりました。同窓生皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。
- まだまだコロナウイルスの影響が収まらない日々が続いております。どうぞお身体にはお気をつけお過ごし下さい。
- 本報75号発刊にあたり、ご投稿、ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様のご投稿、ご意見、ご要望をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(同窓会報編集委員長:阿部 緑)